

## J-PARC MLF 利用者懇談会第 21 回・22 回総会 議事録

日時：2022 年（令和 4 年）3 月 7 日（月）13:30-14:10 オンライン開催

開会時の Zoom 参加者 64 名（最大 101 名）、委任状 16 名、議決権行使書 2 名、計 82 名の参加が確認され、会則第 27 条に基づき総会が成立したことが報告された。

### 【第 21 回総会】

#### 1. 会長挨拶（日野会長）

- ・ 日野会長より挨拶があり、昨年度に引き続きオンライン開催となったが活発なご議論をお願いしたいとの話があった。

互選により、JAEA 先端基礎研究センターの伊藤孝氏が議長に選出された。議長により、庶務幹事の河村氏が書記に指名された。

#### 2. 第 7 期幹事会構成（日野会長）

- ・ 日野会長より、第 7 期幹事会構成が紹介された。

#### 3. 令和 3 年度活動報告（日野会長）

- ・ 会員の入退会の状況が報告された。
- ・ 令和 3 年度活動の総括が示された。
- ・ 分科会活動の支援、MLF 執行部との意見交換を進めてきたことが紹介され、今年度開催の分科会が示された。
- ・ MLF 利用者懇談会（以下、利用懇）ならではの分科会活動を目指し、執行部と議論を重ねてきたことが報告された。一部活動休止する分科会もある一方で、新たな分科会の発足に関しては、利用懇から J-PARC ワークショップへの推薦により活性化を図り、それと関連して若手研究者の支援も目指す。
- ・ 行事の共催、協賛、後援の実績が紹介された。

#### 4. 令和 3 年度決算報告見込み（峯村会計幹事）

- ・ 決算見込み資料が示され、説明された。
- ・ 予算案は、研究会等が現地開催になる場合とオンライン開催になる場合の 2 パターンを作成したが、ほとんどがオンライン開催になった。

- ・ 第 8 期幹事選挙にあたり、公正性と匿名性を考慮し、ウェブ選挙システムを導入することが幹事会で決定し、同システムの費用が支出に加わったことが説明された。
- ・ 分科会に関しては、当初は 20 万円を超える予算を組んでいたが、結果的に共催 1 件分のみの支出となった。
- ・ MLF 産業利用成果報告会、及び、中性子ミュオンスクールの費用はオンライン実施であったため発生しなかった。

#### 5. 第 8 期幹事選挙結果報告（増井行事幹事（選挙管理委員長））

- ・ 第 8 期利用懇幹事候補者推薦選挙、及び、幹事選挙を実施し、足立匡氏、梅垣いづみ氏、大石一城氏、大山研司氏、二宮和彦氏、原田雅史氏、山田悟史氏の 7 名が選出されたことが報告された。
- ・ ウェブ選挙システム導入により、幹事候補者推薦選挙の投票率が飛躍的に向上したほか、投票の秘匿性や負担軽減につながったことが報告された。

#### 6. 審議事項：選挙細則（日野会長）

- ・ 選挙細則改定の趣旨が示され、ウェブ選挙システム導入により投票の秘匿性及び投票率の向上の他、幹事や事務局の負担軽減にもつなげていきたいとの説明があった。
- ・ 細則の変更箇所と変更理由が説明された。

[第一号～第三号議案に対する審議]

Zoom 挙手機能を用いた反対の挙手：2 票 ⇒賛成多数により承認された。

#### 7. その他

- ・ 日野会長より、ご意見があればユーザー広場を利用していただきたいとのコメントがあった。

ICU 久保先生：総会資料はどこかのサイトから入手できるか。

河村・梅垣庶務幹事：総会の資料、議事録等は、利用者懇談会の HP より入手できる。URL をチャットに貼るのでぜひご覧いただきたい。

#### 【第 22 回総会】

##### 1. 会長挨拶、第 8 期幹事構成（大山会長）

- ・ 大山会長より、第 8 期会長及び幹事構成が紹介された。

## 2. 令和4年度活動方針（大山会長）

- ・ 基本的に、これまでの幹事会の活動を引き継ぎ、特に分科会の再編成と活性化を進めていくとの話があった。

## 3. 令和4年度予算案（大山会長）

- ・ 前年度と同様に、量子ビームサイエンスフェスタが現地開催の場合とオンライン開催の場合の、2パターンの予算案を作成した旨が説明された。
- ・ 予算案において、収入、支出共に、量子ビームサイエンスフェスタが主要な項目となっている。量子ビームサイエンスフェスタがオンライン開催となった場合、企業展示等による収入の減少のほうが、開催費用による支出の減少よりも大きくなるため、次年度への繰り越しがやや少なくなることが説明された。

## 4. その他

特になし